

# 宮崎県宮崎市 JR 宮崎駅周辺地区における「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を目指して

国土交通省 九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 計画課

## 1. はじめに

JR 宮崎駅周辺地区には国が管理する国道220号(橘通り)、宮崎県が管理する主要地方道宮崎停車場線(高千穂通り)、宮崎市が管理する市道橘通老松1号線(若草通り、広島通り、あみーろーど)等の道路があり、高千穂通りは宮崎県の陸の玄関口である JR 宮崎駅と、商業集積地である橘通りの2つの拠点を連絡する幹線道路であり(図-2、写真-1)、延長700m、道路幅員40m(うち、片側自歩道部11m)(図-3)の4車線道路です。

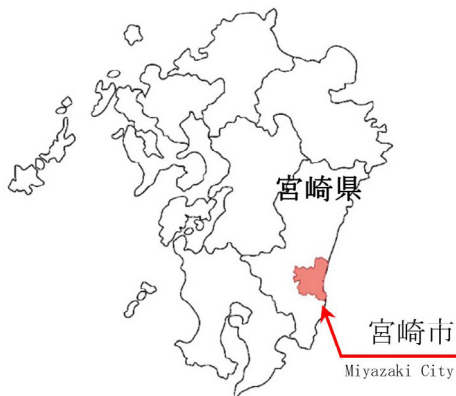


図-1 位置図

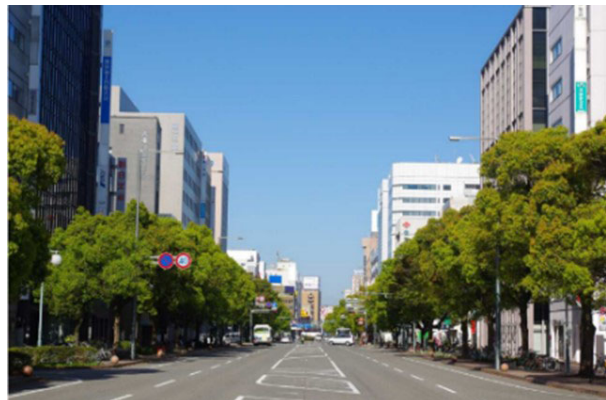


写真-1 高千穂通り全景



図-2 JR 宮崎駅周辺地区 位置図

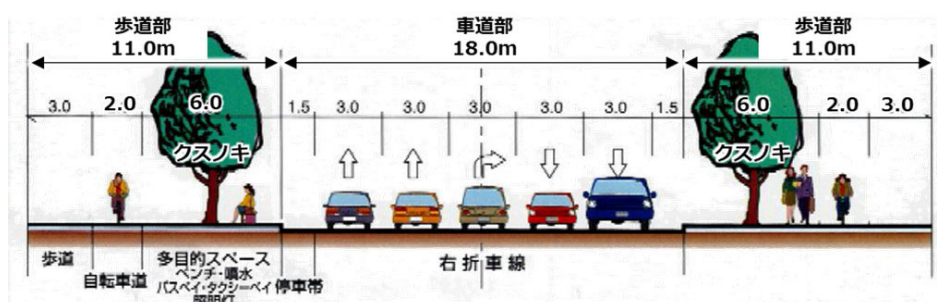


図-3 高千穂通り横断面

また、JR 宮崎駅周辺地区の沿道にはオフィスビルなどが建ち並び、令和 2 年 11 月には JR 宮崎駅西口の JR 九州、宮崎交通によるアミュプラザみやざきの開業や来街者の回遊性向上に向けたグリーンスローモビリティ（ぐるっぴー）の運行開始に伴い（写真－2）地域の民間事業者を中心に中心市街地の活性化の機運が高まるとともに、社会・経済情勢の変化に応じて、自動車の安全かつ円滑な通行が主目的であった道路空間の利活用へのニーズが変化したことを受け、令和 3 年度から令和 4 年度の 2 カ年にわたり、宮崎県及び宮崎市による社会実験（道路局）を実施しました。（写真－3、4、5、6）

実験では、日常的な憩いの空間やイベント等の賑わいの空間の創出における効果検証を行い、道路のバリアフリー化などの構造的な課題、歩行者と自転車の利用方法などの課題を確認しました。



写真－2 グリスロ「ぐるっぴー」とアミュプラザみやざき



写真－3 道路局社会実験風景（令和 4 年 7 月 22 日）



写真－4 道路局社会実験風景（令和 4 年 8 月 5 日）



写真－5 道路局社会実験風景（令和 4 年 8 月 5 日）



写真－6 イベント案内チラシ

## 2. 「歩行者利便増進道路（ほこみち）」の取り組み

こうした中、令和4年11月に高千穂通り中央部にビルを所有するNTTグループが社会実験の取り組みに共感し、ウォークブルの視点で沿道と一体となった空間利活用によるビルの再開発を決定しました。

また宮崎市とNTTグループによる「次世代型まちづくりの推進」に関する連携協定（写真－7、8）など民間開発と連携したまちづくりにより、一層魅力的な道路空間を創造する取り組みへと広がりを見せています。

このような状況の変化に対応するため、学識経験者、民間事業者、行政（国土交通省・宮崎県・宮崎市）等で構成するJR宮崎駅周辺地区の道路空間利活用協議会において、令和2年11月に創設された「歩行者利便増進道路（ほこみち）」の指定に向けて、まずは高千穂通りの約700mについて、利便増進誘導区域の具体的な範囲や自発的に活用される仕組みなど、ほこみちを希望する事業者の意向を確認しながら進めているところです。



写真－7 宮崎市とNTTグループによる「次世代型まちづくりの推進」に関する連携協定の締結 記者発表資料抜粋（宮崎市提供）



写真－8 連携協定集合写真（宮崎市提供）

### 3. 「まちなかの価値向上」を目指して

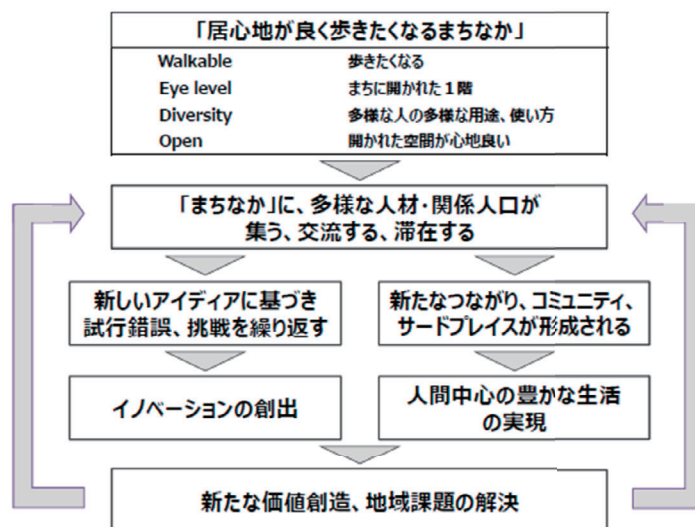
全国的に多くの「歩行者利便増進道路（ほこみち）」や「まちなかウォークブル推進事業」が取り組まれています。JR 宮崎駅周辺地区は「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生、価値向上を目指しスタートしたばかりです。（写真－9）

今後も、「居心地が良く歩きたくなる」まちなか創出に向けた道路空間利活用に関するガイドラインや「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」提言（図－4）等の内容を十分に理解して、道路管理者が保有する多くの公共空間を沿道と一体となった居心地の良く歩きたくなるまちなか空間へと利活用することで、魅力が更に向上し、多様な人々を惹きつけ交流が生まれることにより、イノベーションの創出や人中心の豊かな生活の実現、更には新たな価値の創造や地域課題の解決につながる環境づくりへ発展するよう、より一層、学識経験者、民間事業者、行政（国土交通省・宮崎県・宮崎市）等の連携を深め、円滑かつ効率的に「まちなかの価値向上」を目指していく所存です。



写真－9 高千穂通り整備イメージ（宮崎市景観計画）

#### なぜ、人中心の「まちなか」づくりが必要なのか？



図－4 「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」提言